

No.	審議会委員から提出された意見				意見に対する回答	担当
	章	節	該当箇所	内容	内容	
1	1	1	P53 （１）子育て支援体制の充実を図ります	認定こども園の設置数を増やします、とあるが、数だけでなく、エリアについてもどんな配慮をする予定か、教えてほしい。	公立施設については、令和６年３月に策定した「西条市公立保育所等再編整備計画」に基づき、園児数が減少すると見込まれる場合及び老朽化等により施設の維持が困難になる場合、国の方針に従い幼保連携型認定こども園への再編整備を進め、おおむね各中学校区で１園程度、拠点となる施設の再編整備を検討することとしております。  【３施設増加の見込み】 ○西条聖マリア幼稚園（私立）⇒認定こども園に移行 ・園児数の減少及び保護者にニーズに対応するため。 ○小松幼稚園と小松西保育所を統合し、認定こども園に再編 ・幼稚園の園児数の減少と施設の老朽化による。 ○ひまわり幼稚園と禎瑞保育所を統合し、認定こども園に再編 ・幼稚園の園児数の減少と現在の施設が愛媛県浸水想定区域内に位置していることによる。	こども健康部
2	1	1	P53 （１）子育て支援体制の充実を図ります （２）児童の健全育成活動の充実を図ります （３）母子保健の充実を図ります	子育て支援体制の充実・児童の健全育成活動の充実・母子保健の充実は理解できるが、今の制度の充実だけでなく、新たな支援策はないか。また、以下の資金的支援はどこまでなされていくのか、乳児・幼児・児童・生徒（高校生を含む）別の支援について、教えてほしい。	子育て支援策は、市民ニーズ等を踏まえ事業実施しており、今後とも既存事業の充実及び新規事業の実施を行ってまいります。主な事業としては、次のとおりです。  【妊婦、乳児、幼児、児童、生徒向け】 ○若年出産世帯応援事業（子育て関係用品購入費補助、R5年度新規） ○紙おむつ定額利用支援事業（保育所等で利用する紙おむつ定額利用サービス費用の補助、R6年度新規） ○特定不妊治療（先進医療）費補助金交付事業（不妊治療に係る先進医療に係る費用の一部を補助、R5年度新規） ○こども医療費助成（保険診療による医療費の一部負担金を全額助成、R6年度から助成対象を高校生年代に拡充）  【児童、生徒向け】 ○就学援助（経済的に困窮している小学校・中学校の家庭に対して給食費、学用品に関する経費を援助） ○奨学金（経済的理由により高校、大学修学が困難な方へ奨学金の無利子貸付） ○健幸アンバサダー養成講座 健康に関する正しい知識を身近な人に伝える健康の伝道師「健幸アンバサダー」の養成対象をR5年度から高校生も対象に拡充）	こども健康部 教育委員会事務局 福祉部
3	1	3	P57 （３）障がい者（児）福祉の充実を図ります	障がい者（児）福祉の充実を図ります、とあるが、面接会への参加事業者数よりも、雇用者数の増加をKPIにしているのか？ 参加事業者数では、対応策としての期待度は低いのではないか。	第2期総合計画では、「障がい者合同就職面接会への参加者のうち採用者の割合を向上します」とし、当日の参加者に対する採用者数の割合をKPIの評価としていましたが、第3期総合計画では、より多くの事業所に障がい者雇用に関心を持っていただき、参加事業者数が増えることにより、障がい者の雇用増につなげることを目標に設定しました。 ハローワークや特別支援学校とも連携し、障がい者の就労支援に努めており、事業者に対して障がい福祉に関する理解を深めるとともに、障害があってもなくても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、社会環境の整備及び地域共生社会の実現に向けて取り組んでまいります。	福祉部
4	1	3	P57 （１）介護予防に努め、地域包括ケアシステムの深化・推進を図ります	・「介護予防教室の参加者数を増加します」とあるが、どのような機会に誰を対象として予防教室を実施しているのか。  ・「認知症サポーター数を増加します」とあり、認知症への理解は深まってきていると思うが、認知症予防のための施策はどうなっているのか。	・介護予防教室は、各地区の公民館や集会所を活動の場とし、概ね65歳以上の高齢者を対象として百歳体操教室や介護予防にかかる出前講座等を実施しております。また、高齢者の集いの場づくりとして各地区で開催している高齢者カフェなどの機会を利用し、介護予防にかかる出前講座や体操教室などを実施しております。  ・主な認知症予防の取組として、認知症サポーター養成講座のほか、タブレットを使った自己診断と啓発活動の取組「脳いきいきチェック」、認知症の方と家族の集いの場「認知症カフェ」、認知症の初期的な支援を行う「認知症初期集中支援チーム」、認知症出前講座、認知症あんしんガイドブックの発行、徘徊の恐れがある方を見守る「認知症みまもりねっと」、認知症の人とその家族の相談会「認知症情報交換会」などを年間を通じて実施しております。	福祉部

No.	審議会委員から提出された意見				意見に対する回答	担当										
	章	節	該当箇所	内容	内容											
5	1	3	P57 （2）介護保険制度の適正な運営を図ります	<p>・「65歳以上の高齢者の要介護認定率の上昇を抑制します」とあるが、上昇を抑制するために、どのような手だてを実施しているか。</p> <p>・「ケアプランの点検数を高い水準で維持します」とあるが、高い水準とは何パーセントくらいなのか。また、ケアプランは、全体として約何件くらいあり、何人の職員が点検をしているのか。</p>	<p>・高齢者が要介護状態となることを予防するためのは、いわゆる「フレイル（虚弱）」への対応が重要です。フレイルは健常から要介護状態へ移行する間の状態であり、適切な支援を受ければフレイルを抑制し、ひいては要介護認定者を抑制できるものと考えております。</p> <p>・第9期介護保険事業計画（令和6年度～8年度）においては、介護予防・日常生活支援総合事業や高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施（※）することで、介護予防、健康づくりを推進することとしております。（第9期介護保険事業計画 P8）</p> <p>「※高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」</p> <p>①ハイリスクアプローチ （高齢者に対する個別的支援）</p> <p>・糖尿病性腎症重症化予防 糖尿病の未受診者や治療中断者への受診勧奨や保健指導をおこなう</p> <p>・高血圧重症化予防 「高血圧」の有病率が高く、「心不全」が健康課題であるため、未受診者や治療中断者への受診勧奨や保健指導をおこなう</p> <p>・低栄養防止 食べることを通じて低栄養の改善を図り、フレイルの予防や生活習慣病等の重症化の予防を図る</p> <p>・健康状態不明者の状態把握 保健師等が訪問して健康状態がが不明な高齢者の状態を把握し、受診、介護や通いの場への参加につなげる</p> <p>②ポピュレーションアプローチ （通いの場等への積極的な関与）</p> <p>・通いの場におけるフレイル予防のための啓発、健康教育、健康相談事業 【通いの場：いきいき百歳体操、生きがいデイサービス、スマイルサポート教室等】</p> <p>・ケアプラン点検は「利用者にとって意味のあるケアプランとなっているか（生活向上、自立支援）」を軸に点検者である職員とケアプランを作成するケアマネジャーと一緒に様々な視点からケアプランを検証するものです。（第9期介護保険事業計画 P70）点検対象は主に居宅サービスですが、施設サービスについても実地指導時に一部確認しています。</p> <p>・点検方法としては全件の点検ではなく、利用者本位のプランとなっているかの着眼点により、点検対象となるケアプランをピックアップし効果的・効率的に行うこととしています。</p> <p>・現点検体制においては、令和5年度の実績は過去の実績からも高水準であると考えており、（R3：160件、R4：327件）、計画期間はこれを維持してまいりたいと考えております。</p> <p>○ケアプラン点検実績（令和5年度） <b>398件</b> <b>（実施率 7.7%）</b></p> <p>点検対象ケアプラン数（月平均）</p> <table><tr><td>居宅介護（予防）支援：</td><td>3,593件</td></tr><tr><td>小規模多機能型居宅介護：</td><td>234件</td></tr><tr><td>認知症対応型共同生活介護：</td><td>393件</td></tr><tr><td>施設サービス：</td><td>982件</td></tr><tr><td>合計</td><td>5,202件</td></tr></table> <p>点検職員数： 1名</p>	居宅介護（予防）支援：	3,593件	小規模多機能型居宅介護：	234件	認知症対応型共同生活介護：	393件	施設サービス：	982件	合計	5,202件	福祉部
居宅介護（予防）支援：	3,593件															
小規模多機能型居宅介護：	234件															
認知症対応型共同生活介護：	393件															
施設サービス：	982件															
合計	5,202件															
6	1	3	P57 （3）障がい者（児）福祉の充実を図ります	<p>・「児童発達支援センターの事業所数を増加します」待ち望んでいる方々が大勢いると聞いているので、早期の実現を希望する。</p>	<p>「児童発達支援センター」は、現在、西部地域に1箇所設置しており、東部地域への設置に向けて、事業者が計画を進めています。市も連携しながら、対象児及びその養護者への支援を行ってまいります。</p>	福祉部										

No.	審議会委員から提出された意見				意見に対する回答	担当
	章	節	該当箇所	内容	内容	
7	1	3	その他	介護の現場からは、働く人手不足、夜勤をする人の不足、設備の老朽化の問題等があり、大変であるとの声も聞こえてくる。市としては、それに対してどのような対応が考えられるか。	介護人材の確保・処遇改善及び介護事業運営に係るコスト改善は、国と地方が一体となって全国的に実施する必要がある。現状把握に努め、原資となる介護報酬に反映されるよう、国・県と情報共有を行ってまいります。	福祉部
8	2	2	P60 水資源の保全	・まちづくり指標に「市民の水資源の保全に関する満足度を向上します」とあるが、アンケート調査を実施しているのか。 ・地下水の水質調査を同様に実施し、その結果を市民にどう開示しているのか。	「市民の水資源の保全に関する満足度」については、5年に1回実施している「西条市まちづくりに関する市民アンケート」で調査しております。また、地下水の水質調査は、一般家庭調査井戸70箇所と地下水を使用している公共施設90箇所（令和4年度）で実施しており、その結果は毎年、地下水年報として取りまとめて、ホームページで公開しております。	環境部
9	2	3	P63 （1）ごみの減量・資源化を推進します	市民1人1日当たりのごみ排出量を減少しますとあるが、ごみの再資源化を推進する方策を教えてください。	リサイクルできる資源ごみ（新聞・雑誌・ダンボール・ペットボトル）について、現状のごみステーション回収に加え、令和5年度より市庁舎や一部の公民館、計28箇所での新たな回収体制を図り、資源化を推進しています。また、家庭から出るもえるごみには包装紙などの雑がみが含まれ、本市では汚れていない雑がみは雑誌と一緒にリサイクルすることができ、もえるごみの減量にもつながります。これら一例ではありますが、ごみの分別基準など更なる周知・啓発によりごみの減量・資源化の推進に努めております。	環境部
10	2	3	P63 （3）良好な生活環境を保持します	海の環境保全に関して、希少生物カブトガニの生息についてはどのようになっているか。	カブトガニについては、平成30年度以降、幼生の確認数が増えてきており、近年は、成体に近い個体も確認されております。このような状況から、幼生の成長、沖に出た成体の戻る場所として、カブトガニの住みやすい環境への改善がうかがえる状況となっております。しかし、海岸干潟部にエイの痕跡が多く確認され、カブトガニに与える影響が懸念される状況もありますので、今後もカブトガニの生息については、注視していきたいと考えております。	教育委員会事務局
11	3	1	P69 （3）都市間の移動手段としての利用啓発に努めます	デマンド型乗合タクシーの導入等により利便性の向上に取り組むとあるが、スマホを活用したデマンド型乗合タクシーの導入をどう図るのか。	本市において、現在、デマンド型乗合タクシーの運行地域を拡大しているところであります。また、ご意見のありましたデジタル技術を活用したデマンド型乗合タクシーについては、他市町村において AI オンデマンド交通の取組が進められており、本市においても利用者の利便性の向上と運行の効率化のため、調査研究を行っていくこととしております。	市民生活部
12	4	1	P75 （3）防災・減災体制の充実を図ります	西条市における備蓄体制は、どうなっているか。現実には、西条市役所において三日分の水・食糧備蓄が何人分用意されているか。そのほか、トイレ衛生関係は十分か。	令和6年4月現在、アルファ米や菓子類等の食料は55,650食分、飲料水は2リットルペットボトルを8,400本（5,600人分（1日1人当たり3リットル換算））備蓄しております。また、トイレ関係は、組立式簡易トイレ860基、組立式仮設トイレ216基、便袋と凝固防臭剤27,400セットを各指定避難所等へ備蓄しております。トイレについては、能登半島地震以降、より一層注目されており、本市としても一定数の備蓄が必要であると認識しており、トイレ備蓄計画を策定し、計画的な備蓄に努めていくこととしております。なお、食料・飲料等の災害用備蓄は、「自助」を基本として、ホームページや防災説明会等により市民自らが備えるよう周知も行っております。	経営戦略部 （危機管理監）
13	全体			使われている用語について、分かりやすく解説されている文面もあるが、基礎知識がなければ現代用語は理解しづらい。注釈もしくは後方ページにて、用語解説を検討してみてもどうか。他市の計画においても、多くの自治体で「用語解説」として参考資料を掲載されています。「正しく 見やすく 分かりやすく」よろしくお願いいたします。	現代用語や専門的な用語等、一見して理解しにくい用語については、巻末資料「用語の解説」にて内容の説明を掲載する予定です。	事務局
14	P5 第1章第4節 時代の潮流と国の動向 （1）少子高齢化と人口減少社会			令和6年6月5日、厚生労働省が以下の最新の出生数データを公表しているので、更新いただきたい。 「令和5（2023）年 人口動態統計」 出生数72万7,277人（8年連続減少）	ご指摘のとおりデータを更新させていただきます。その他の統計値等についても、可能な限り最新値に更新させていただきます。	事務局

No.	審議会委員から提出された意見				意見に対する回答	担当
	章	節	該当箇所	内容	内容	
15	P15 第2章第3節 まちづくりに向けた市民意識 （1）アンケートから見る市民意識			アンケート回答者の属性が、西条市の縮図になっている程度が類推できるように、可能な範囲でアンケート回答者の構成比と西条市民の構成比（性別、年齢別等の属性別の構成比）を明記するといいいのではないか。	P15もしくは巻末資料にて、アンケート回答者の構成比及び属性別の構成比等を明記し掲載させていただきます。	事務局
16	P52～107 基本計画KPI			各KPIを何でもって測るか（＝数字の出所）を明記するといいいのではないか。	各KPIの数値のデータ元については、巻末資料「成果指標一覧表（仮）」に明記させていただきます。	事務局